

第 12 回 K S N熊本シニアネット定時総会等の実施プログラム

- 1、開催月日 平成 21 年 5 月 10 日（月曜日） 13：30～20：00
- 2、会 場 総会：パレアホール 10F 熊本市手取本町 8-9
懇親会：メルパルク 3F 熊本市水道町 14-1
- 3、行事内容 (1) ワークショップ(研究集会) パレアホール 10F
テーマ 1 行政機関とのコラボレーションについて
テーマ 2 会員相互の支援体制について

(2) 総 会 パレアホール 10F
・議題 21 年度活動経過報告、決算報告、22 年度活動方針（案）
会則改定（案）役員改選など

・写真撮影と移動

(3) 懇親会 メルパルク
アトラクション、各支部、各サロン紹介、名刺交換

第一部 ワークショップ

- (1) 開 会 ……………13：30
- (2) 主催者挨拶 ……………13：32
- (3) ワークショップ ……………13：40

第二部 総 会

- (1) 開 会 ……………15：10
- (2) 代表挨拶 ……………15：13
- (3) 議長選任 ……………15：15
- (4) 成立宣言 ……………15：18
- (5) 書記指名 ……………15：20

議題

- (1) 平成 21 年度活動報告
- (2) 平成 21 年度収支報告
- (3) 平成 21 年度会計監査報告
- (4) 会則の変更等について
- (5) 平成 22 年度活動方針（案）
- (6) 平成 22 年度予算（案）
- (7) 役員改選
- (8) その他の事項
- (9) 質疑応答
- (10) 新役員及び支部長紹介
- (11) 閉 会 ……………17：00

第三部 懇親会 メルパルク

ご挨拶

熊本シニアネット代表 中島敬也

皆さん、熊本シニアネット創立以来12回目の総会の開催おめでとうございます。
創立10周年記念事業「シニアネットフォーラム21in九州」熊本大会では会員総出で
ご協力を頂き成功裡に大会を終えることが出来ました。
まさに熊本シニアネットの底力を全国に示した大会でした。ありがとうございました。

「シニアの孤独をなくし、新たな文化的、人的交流の空間を提供する」として10年、
登録会員数が1360番となって、会員数では日本一となり、目的の一部は会員の理解と支えによ
って達成されつつあるように見えます。

しかし元気会員だけが楽しむ今の熊本シニアネットでいいのでしょうか？
熊本シニアネットの会員も高齢化していきます。会員中200名は後期高齢者です。
全国老人クラブ連合会でも、高齢社会を目の前にして、認知症予防の健康づくりリーダーの養成を
しておりますし、日本グラウンド・ゴルフ協会も後期高齢者でも出来る運動として普及指導員の養
成を急いでいます。
行政も認知症予防のサポーターを養成していますし、一人暮らし、高齢者世帯の情報を共有するた
めに、民生委員、高齢者相談員、老人会長、シルバーヘルパー、自治会長のネットワーク作りを始
めています。

熊本シニアネットもITリーダーを通して、県庁の長寿社会局、高齢者支援課に窓口を持ってい
ます。熊本学園大学の社会福祉学部や、サロンの場所を提供していただいている特別養護福祉施設
もあります。

元気シニアが自分のわがままを通す「わがままシニア」でなく、自分も楽しみながら、生きがい
作り、健康づくりの目を地域に広げてみようではありませんか？

第12回総会では、1) 会員相互の支援体制をつくり、住み慣れた地域で安心して暮らせるネッ
トワークの構築 2) 生きがいの創造を図るため、地域の高齢者支援に動き出した行政とのコラボ
レーションをどう推進するか等をテーマに「ワークショップ」を企画しました。

そこに第2ステージに立った熊本シニアネットの姿を見つけ出す事が出来ると思います。

■ 2009年度 熊本シニアネットの総括

はじめに

2009年度は、熊本シニアネットが1999年7月に発足から10年目を記念して「シニアネットフォーラム21 in 九州」が熊本市で開催されました。全国から250名のシニアの皆さんがパレアホールに集まり、活発な意見交換が行われました。そして、八代支部と学園大支部が新たに発足して、15支部で会員登録人員は約1360名となりました。

今年は歴史的な政権交代の年となりました。第45回衆院選に於いて、民主党が過半数(241名)を大きく上回る308議席を獲得して鳩山内閣が発足しました。

5月にはカナダから帰国した大阪府の高校生の新型インフルエンザの感染が確認されて日本中が大騒ぎとなりました。

1. 2009年度の重点項目に対する動きについて

7つの項目を定め、推進を図ってきました、その結果は次の通り。

(1) 転ばぬ先の杖、高齢社会の賢い生き方を学びましょう。

高齢者の自助努力を中心とした介護、ホスピス、終の棲家、市民後見人制度を勉強することはシニアネットフォーラム21 in 九州の開催支援のため、殆どできなかった。しかし、その必要性は確実に増大しています。2010年度も同じ項目でチャレンジしたい。加えて、認知症サポートの研修を実施します。

(2) 身近な地域に気楽に行ける場所作り、サロンの拡大と地域との連帯強化を図ります。

長年の懸案であった八代支部が12月にNTT八代支店を拠点として発足した。22年1月には熊本学園大学に学園大支部が発足しました。

(3) 支部活動の支援体制を推進します。

八代支部、天草支部に「ウイルス対策について」の勉強会の講師派遣で支援しました。水俣支部に対してはデジカメの講師を派遣しました。

(4) 知って得する「シニア情報室」の充実を図ります。

会員からの相談は毎月1から2件程度の問い合わせで、活発ではありませんでした。今後は気楽にシニア情報室に問い合わせが来るように充実を図りたい、主な問い合わせ項目は次のとおり。

- ・5月 痛風の専門医の問い合わせ
- ・6月 登山中の痙攣(つり)と対処法の問い合わせ
- ・7月 親の中距離介護の問い合わせ
- ・8月 リバースモーゲージ制度の問い合わせ
- ・1月 認知症に対する問い合わせ
- ・2月 太陽光発電装置設置の問い合わせ

(5) IT リーダー講習会を熊本市で年2回開催して、IT 要員を拡大します。

今年も熊本県健康福祉部高齢者支援総室と熊本シニアネットのコラボレーションで新規に14名のITリーダーを熊本市及び玉名市で養成をした。これまでの養成者を加えると174名となります。

(6) 財団法人ニューメディア開発協会主催の「シニアネットフォーラム21 in 九州」の開催を支援します。

平成21年10月23日くまもと県民交流館パレアにて熊本シニアネット協力支援で「シニアが変わる、地域が変わる、シニアネットはシニアの生きがい、シニアパワーを結集し、シニアネットの輪を広げよう」を合い言葉に開催されました。

村田熊本県副知事、幸山熊本市長等、そして全国からシニアネット多くの仲間が集まりました。

(7) 地域に開かれたシニアネットを目指します。

東部市民センターのまちづくり交流室とタイアップして・ワード講習・エクセル講習・デジタルカメラ講習・パソコンなんでも相談を開催しました。

2. 2009年度の新規入会者(65名)状況

(1) 男女別入会者の特徴

今年度の新規入会者は65名で、男性37名の57%、女性28名の43%です。

その内、正会員入会は54名87%でした。最近の傾向は正会員入会が多いことです。

(2) 入会者の居住地区

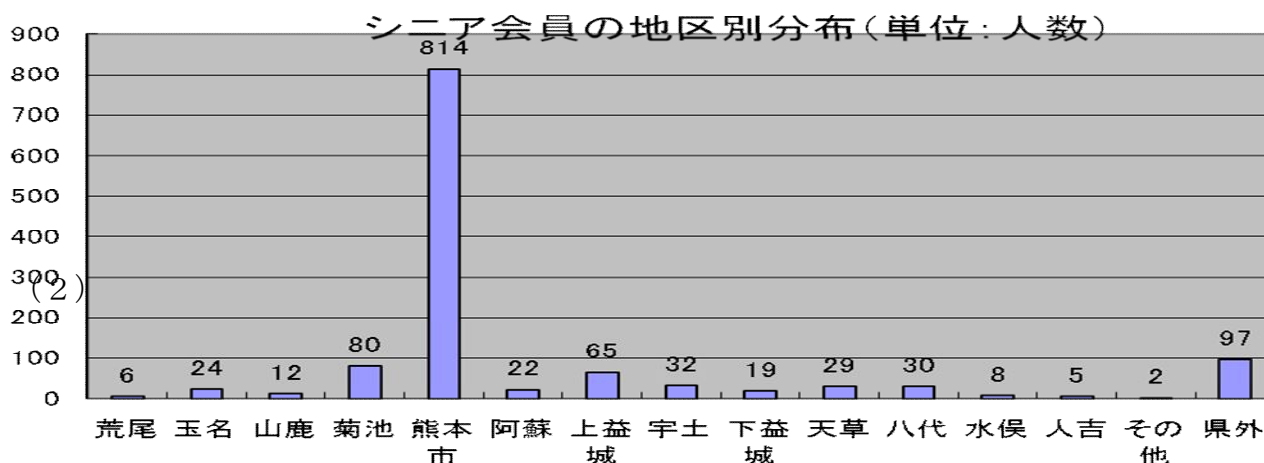
熊本市42名で65%、玉名地区3名、菊池地区4名、鹿本地区1名、宇城地区9名、八代地区1名です。その他13名です。

(3) 入会者の年齢分布(生年月日申告者のみ)

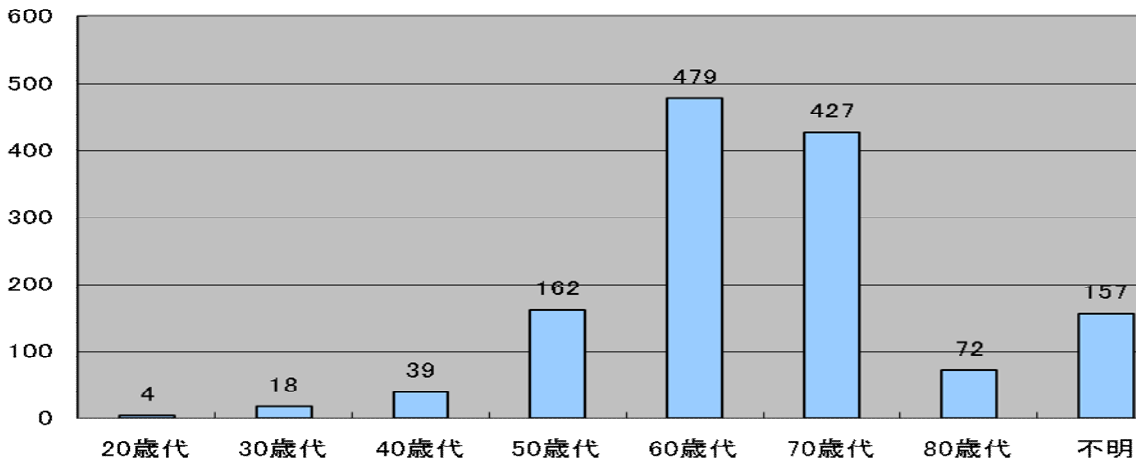
年代別	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	不明
人数	1名	7名	31名	12名	3名

3・2009年度末の会員の状況

(1) 会員の住居地域 熊本市内在住が65.4%で、熊本市以外の県内26.8%、県外7.8%。



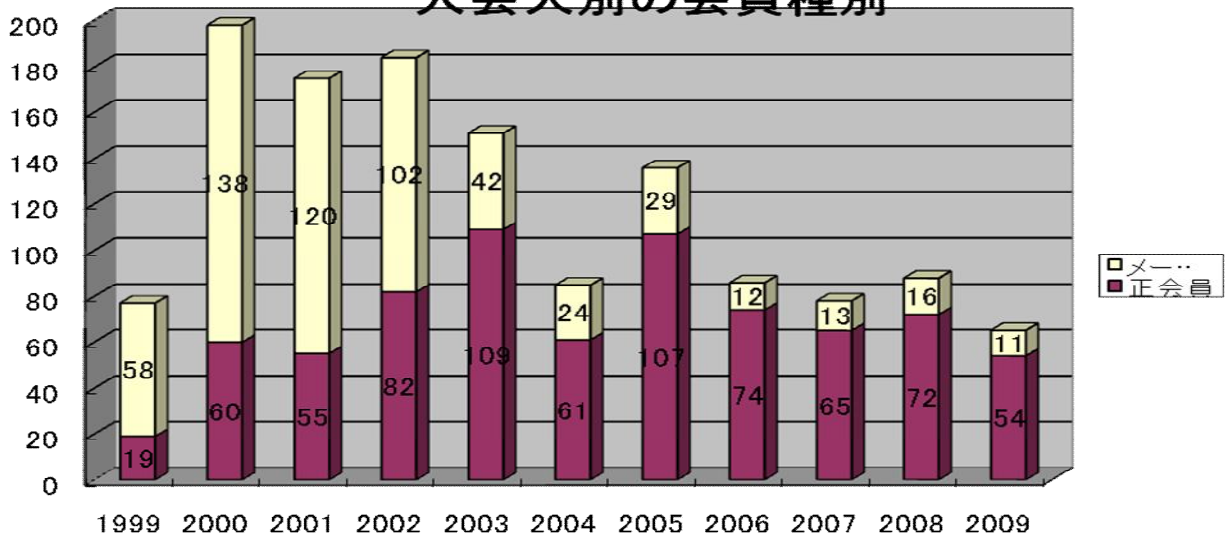
会員の年齢分布



(3) 入会年別の正会員とメール会員の状況

下表のとおり、最近の入会者は正会員が多いです。2002年以前に入会された方はメール会員が多くなっています。

入会年別の会員種別



4. メインメールの投稿数について

(1) メインメーリングの活用状況について

<メインMLの動き>

2009年のメインメーリング総投稿数は3841件（昨年比+8件）あった。

5. その他のメーリングの運営状況

KSNの運営を支えるメーリングは下記にあるように主に8つのメーリングリストがある。評議員会、執行委員会、ITアドバイザー、KSN窓口は有料MLを利用している。

福祉医療専門ML、保健福祉医療部MLについては無料MLを利用している。

その他に行事ごとに交流や参加専用のMLを立ち上げ行事につなげている。運営の要となっている評議委員会ML執行委員会MLがあるが、中でも164名を超すITアドバイザーが参加する（教育普及部）、アドバイザーMLは活発であるがIT教育用参加受付アドレスになっており不要投稿も増加傾向にある。

6. 他の組織、ネットワークとの連携

シニアネットの仲間が熊本県下でパソコン指導を中心に交流の場を開拓しています。

山都シニア交流会	山都町の高齢者活動センター	月2回
シニアパソコン交流会	熊本県健康センター(熊本市東町)	月2回
自鯖研究会(自宅サバー)	熊本シニアネット本部事務所	月2回
ホームページを作って楽しむ会	西部サロン	月1回
イラストの会	熊本シニアネット本部事務所	月2回
ブログを楽しむ御幸会	熊本シニアネット本部事務所	月2回
英会話を楽しむ会	菊陽町	月1回
三角パソコン教室	三角町 不知火町	月4回
菊陽パソコン教室	菊陽コミセン	月2回
嘉島 IT 教室	嘉島公民館	月2回
NTT パソコン教室	NTT さくら塾	月2回

7. おわりに

熊本シニアネットは1999年に創設以来11年目を迎えることになりました。

会員の録者数も1,300人を越える大組織になりました。これも先輩諸氏の努力に負うことが大きいと思われまます。組織は常に新しい血が入ってこそ健全な活動が約束されます。

今年を第2ステージの年と位置付け、新たな気持ちでシニアのための組織作りをしましょう。

■ 2010年度 熊本シニアネットの展望

2010年度の重点項目について

熊本シニアネットは昨年度10周年の記念すべき年でありました。今年は新たな熊本シニアネットとして第2ステージの初年度としてスタートすることになります。

今年は、情報技術を活用して、会員相互のケアや、ふれあいや、居場所作り、生きがいつくりを行うボランティア活動のスタートの年にしたいと考えています。

(1) 転ばぬ先の杖、高齢社会の賢い生き方を学びます。

IT技術を利用して仲間と共に楽しく、生き生きと自分の好きなことに専念して来ました。しかし、会員の高齢化は確実に進行しています。今年は高齢者の自助努力を中心とした介護、ホスピス、終の棲家、市民後見人制度を勉強するチャンスを持つようにしましょう。

(2) 身近な地域に気楽に行ける場所を作り、支部(サロン)の拡大充実と支部活動の支援体制を推進します。

(2) 高齢社会に伴い行政機関は高齢者の自立と支援体制を推進しています。

このため、熊本シニアネットは行政機関等との連帯強化を図り、会員の安全安心な暮らしを確保します。

(4) 知って得する「シニア情報室」の充実を図ります。

シニア情報室は、平成19年12月1日にスタートしました。今年は4年目に当たります。

会員の皆さんに役立つ情報を早く、正確にお知らせすることにします。

さらに大きな交流概念図(他ネットとの交流)・・・継続的な交流を

